

宝マップ

第4版

二七の市



1876(明治9)年、松浜の平田甚六と井村吉太郎が、県へ2と7のつく日に市を開きたいと願い出しました。ほどなく許可を受け、それ以来、松浜では2と7のつく日に市が開かれています。市が開かれる松浜本町4丁目には「新屋敷」とも呼ばれ、1873~74(明治6~7)年にかけて阿賀野川の川岸の浅洲を埋め立てて造成されたところです。

松浜二七の市は、1916(大正5)年、2・7・12日には新屋敷で、17・22・27日には本町通りで開かれています。現在は約100店が出店しています。

3. あかしあ公園・桜ヶ丘こども広場



東区側から松浜橋(長さ920m)を渡ると、左側に小高い丘があります。ここには、かつて港の灯台がありました。しかし、航空路の支障となるので、灯台を松浜漁港内に移設し、その後、ここは北極星スコープがある公園となりました。

東屋からは、日本海、新潟空港、松浜橋、阿賀野川、弥彦山、角田山などが一望できます。特に、間近を飛ぶ飛行機や佐渡島へ沈む美しい夕日はオススメです!

4. 海辺の森



南浜地区の日本海に面した松林の中にあり、展望塔、ハマナス園、キャンプ場などがあります。トリムコース、わんぱくの森には、子どもたちが自由に遊べる遊具がそろっています。キャンプ場には、テントサイトが32カ所、炊事棟が4棟あり、キャンプの必需品であるテント・鍋や飯ごうなども準備(有料)されています。雨天時の団体活動のための「つどい棟」には、「つどいのホール」や談話室が備えられており、管理棟にはシャワー室、多機能トイレもあります。

近くの島見浜海水浴場では、7~8月の日曜・祝日の早朝、キャンプ場宿泊者が地引網を体験できます(要確認)。

【申し込み】 海辺の森キャンプ場 電話025-255-3810
【開設期間】 4月29日~10月31日

5. 西巖寺と切尾山神社



西巖寺

上越市頸城区にあった茶臼山城の城主 手島景行は、1579(天正7)年、上杉謙信没後に起こった御館の乱で敗れ、島見浜に逃れたといわれています。

景行は、その後栄玄と名を改め、西巖寺の開祖となりました。1590(天正18)年、京都の本願寺から「西巖寺」の寺号を賜り、以来1000軒以上の檀家を持つ名刹となっています。

切尾山神社(浦ノ入)には「宝物であった親鸞真筆の『南無阿弥陀仏』の巻物を泥棒が盗み、岩船の蒲萄峠に捨てていったが、夢の知らせにより訪れた学女が拾って来て寺の宝物にした」という話が

